

課題名	COVID-19 流行下における集中治療室の医療ひっ迫と臨床転帰との関連についての検討
承認番号	E2023-0133 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属：集中治療部 氏名：熊城伶己
研究期間	(西暦) 2024 年 1 月 ～ (西暦) 2026 年 3 月
研究の意義・目的	研究目的： COVID-19 の流行により医療のひっ迫が起きました。ICU における診療状況の変化についてはすでに報告されておりますが、医療ひっ迫を加味した評価はされておられません。各施設の医療ひっ迫状況を踏まえて評価することで、パンデミックが起こった時の医療体制の整備の備えになることを目的とします。
研究の方法 (対象期間含む)	本研究は、診療録（カルテ）情報や既存のデータベースを調査して行う、多施設共同研究です。 2019 年 1 月～ 2023 年 2 月の間に当院の集中治療室に入室した非 COVID-19 の患者様が対象になります。 対象となる患者様のデータについて、当院では、日本 ICU 患者データベース（JIPAD）にデータを登録しているため、そのデータベースから、以下の情報を調査します。 ・ 患者背景、ICU 在室中の診療情報、重症度スコアとそれによる予測死亡率 ・ 人工呼吸管理日数、ICU 滞在日数および ICU 転帰、入院日数および院内転帰 JIPAD の ID を研究用の ID として用いますので、個人の特定はできません。これをメールで、主研究機関である広島大学に提供し、解析に用いられます。 また、2019 年～2023 年 2 月の間に当院の集中治療室に入室した重症 COVID-19 患者様については、カルテから使用する内容は重症 COVID-19 患者様の入退室日です。これにより各施設の重症 COVID-19 診療期間を同定します。
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	広島大学への情報提供は、パスワード設定された CSV ファイルをメールで送付することで行います。情報を提供する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに JIPAD の ID を使用して、どなたのものか分からないよう加工した上で提供します。個人と連結させるための対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。
利用又は提供する 試料・情報の項目	・ 患者背景、ICU 在室中の診療情報、重症度スコアとそれによる予測死亡率 ・ 人工呼吸管理日数、ICU 滞在日数および ICU 転帰、入院日数および院内転帰 ・ 入退室日
試料・情報を 利用する者の範囲	各施設の研究者代表一覧は下記の通りです。 研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学 教授 志馬伸朗 共同研究機関 ・ JA 広島総合病院 救急・集中治療科 櫻谷正明

	・浜松医科大学医学部附属病院 青木善孝 ・神戸市立医療センター中央市民病院 EICU、GICU 嶋田博樹 ・飯塚病院 集中治療部 川上大裕 ・中部徳洲会病院 集中治療部 平田旭 ・東京ベイ浦安市川医療センター 三反田拓志 ・山形大学医学部附属病院 中根正樹 ・堺市立総合医療センター 熊澤淳史 ・静岡県立総合病院 太田啓介 ・鳥取大学医学部付属病院 森山直樹 ・獨協医科大学病院 内田雅俊 ・倉敷中央病院 入江洋正 ・東京慈恵会医大附属柏病院 又市啓輔 ・東北大学病院 小林直也 ・東京慈恵会医科大学附属葛飾医療センター 福島 東浩 ・福山市民病院 麻酔科 石井賢造 ・福山市民病院 救急科 柏谷信博 ・自治医科大学附属さいたま医療センター 塩塚潤二 ・群馬大学医学部附属病院 杉本健輔 ・中東遠総合医療センター 松島暁 ・大阪大学医学部附属病院 小山有紀子 ・横浜市立みなと赤十字病院 熊城 伶己 情報は上記代表者、及び各施設の共同研究者に共有されます。
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	当院：横浜市立みなと赤十字病院集中治療部 熊城伶己 提供先：広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学 志馬伸朗、菊谷知也
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院集中治療部 熊城伶己 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101